



新春特集展示

2018年12月18日[火]—2019年1月27日[日]  
京都国立博物館 平成知新館 (1F-5)

# 京博のお正月

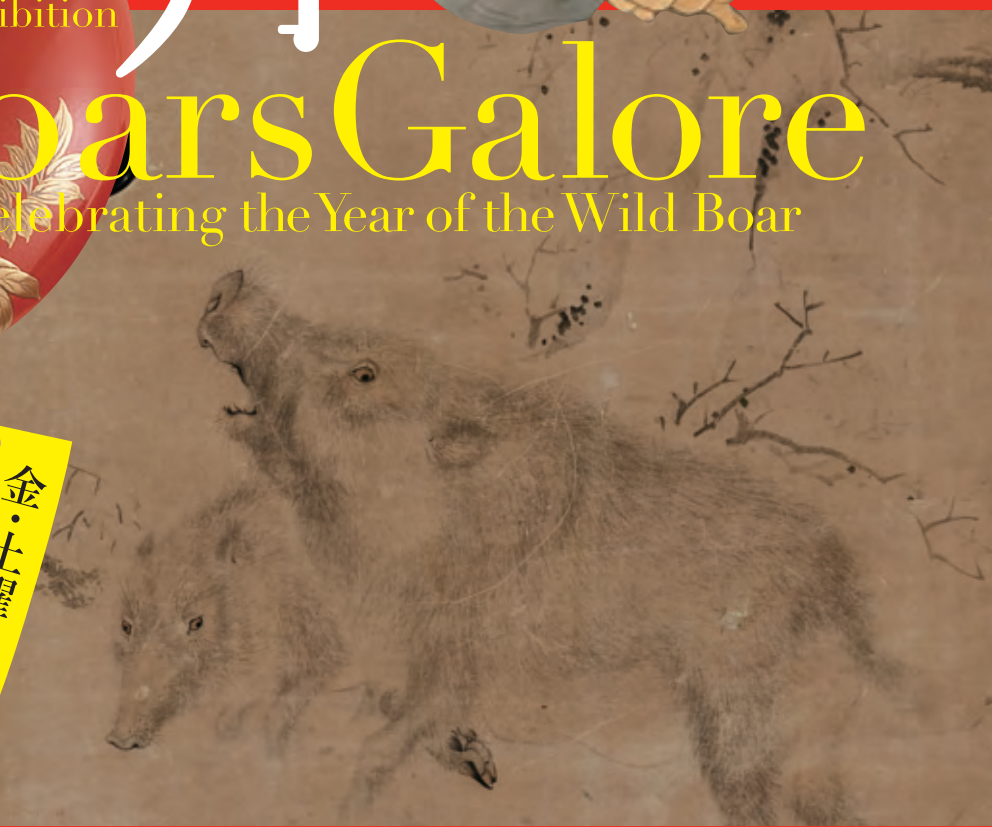
亥づくし

—干支を愛でる—

Feature Exhibition

## Boars Galore

Celebrating the Year of the Wild Boar



金・土曜日は  
夜8時まで開館！  
※入館は閉館30分前

十二月時絵杯 井波喜六齋 (初代) 作 京都国立博物館 / 福祿寿鶴龜時絵三ツ組盃「友治」印 永田友治作 京都国立博物館 / 雪中三獣図襖 (部分) 森狙仙筆 京都・廣誠院

京都国立博物館  
東山七条  
KYOTO NATIONAL MUSEUM

京都市東山区茶屋町 527  
TEL.075-525-2473 (テレホンサービス)  
<https://www.kyohaku.go.jp/>

開館時間=午前9時30分~午後5時 \*金・土曜日は午後8時まで開館 \*入館は各閉館30分前まで  
休館日=月曜日(月曜日が祝日の場合は開館し、翌火曜日休館)、12月25日~2019年1月1日、29日  
観覧料=一般 520円(410円)、大学生 260円(210円)  
\*( )内は団体20名以上。\*高校生以下および満18歳未満、満70歳以上の方は無料。  
\*障害者の方とその介護者1名は無料となります。障害者手帳などをご提示ください。  
\*キャンパスメンバーズは、学生証をご提示いただくと、無料となります。

Feature Exhibition  
*Exquisite Chinese Ceramics*

特集展示

美 麗 を 極 め る

松井コレクション受贈記念

# 中国陶磁



2018年12月18日[火]—2019年2月3日[日]  
京都国立博物館 平成知新館 (1F-2・3)

粉彩松鹿図瓶 (部分) 京都国立博物館





三彩宝相華文三足盤  
京都国立博物館

澱青釉鉢 京都国立博物館

青花黄彩雲龍文盤 大清康熙年製銘  
京都国立博物館

三彩有蓋万年壺 京都国立博物館

黄玻璃細頸瓶 乾隆年製銘  
京都国立博物館



重要文化財 十二類絵巻 上巻 (部分)

平成二十四年に、清朝陶磁を中心とした中国美術の蒐集家である松井宏次氏より、陶磁五十九件、考古十三件、彫刻二件の計七十四件を一括でご寄贈いただきました。今回は、その受贈を記念し、ご寄贈いただいた作品を一室にご紹介します。

ご寄贈いただいた作品の中核をなすのは、中国・清代に作られた陶磁器（清朝陶磁）です。清朝陶磁は、景德镇に官窯が置かれ、高度な技巧を凝らした磁器が生み出される一方で、名声高い陶磁器の模倣が行われました。宋時代の官窯青磁も模倣され、青磁色の単色釉がかけられるだけでなく、胎土や貫入に至るまで、忠実に模倣を行ったものがつくられています。松井コレクションは、洗練された青磁をはじめとした単色釉の名品のほか、赤、緑、黒、褐、藍、黄など多彩な色絵具を用い、繊細な筆致で絵画的な絵付けを行ったり、文人趣味を反映した画題を描いたりした青花磁器や五彩磁器、粉彩を施したものなど、長年培われた鑑識眼によって清朝陶磁の技法を概観できるまとまりとなっています。

清朝陶磁以外にも中国陶磁の蒐集をされており、漢時代、唐時代から宋、明時代までの碗、皿、瓶や壺、枕や俑にいたるまで、コレクションは多岐に渡るものとなっています。また、松井氏は中国美術全般にも興味を持って、造形的な美しさのめられるガラス製品、石造彫刻や青銅器、金属工芸なども蒐集されています。

今回の展覧会では、松井コレクションの全容をご紹介しますとともに、清朝陶磁をはじめとした中国陶磁の形状の豊かさや色彩の美しさを感じていただきたいと思えます。また、中国陶磁だけでなく、合わせて展示する青銅器や金属工芸、彫刻などもご覧いただき、中国美術における造形美について、触れていただく機会になればと思います。



三彩合子  
京都国立博物館



白地紅被玻璃梅花井文小壺 大清乾隆年製銘  
京都国立博物館



三彩牡丹文豆形枕  
京都国立博物館



青磁貼花牡丹唐草文瓶 京都国立博物館

## 【特集展示】 松井コレクション受贈記念 美麗を極める中国陶磁

平成30年12月18日(火)～平成31年2月3日(日)  
平成知新館(1F・2・3)

### 新春イベント

#### 🍡 トラりん登場！

日時：平成31年1月4日(金)・5日(土)・6日(日)  
午前10時～、11時20分～、  
午後1時20分～、3時～、4時～  
場所：庭園

#### 🎭 芸舞妓 春の舞

日時：平成31年1月14日(月・祝)  
午後1時～、2時～の2回公演 \*各回約30分  
場所：平成知新館 講堂

【イベントに関するお問い合わせ】  
京都国立博物館総務課事業推進係 TEL.075-531-7504

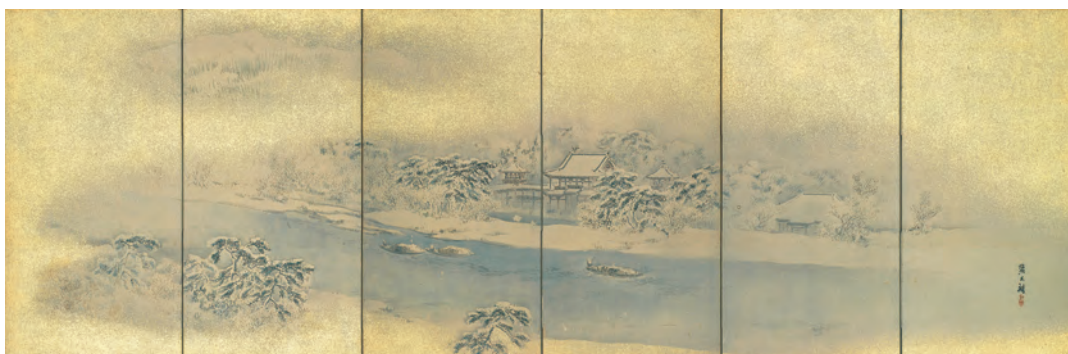
### 関連土曜講座

1月19日(土)「支づくし」関連講座  
講師：上杉智英(当館研究員)  
2月2日(土)「美麗を極める中国陶磁」関連講座  
講師：降矢哲男(当館研究員)

※平成知新館 講堂にて開催、13時30分～15時に開催。定員200名、  
聴講無料(ただし当日の観覧券等が必要)。  
※当日12時より、平成知新館1階グランドロビーにて整理券を配布し、  
定員になり次第、配布を終了します。



国宝 法然上人絵伝 巻四十二(部分) 京都・知恩院



平等院雪景図屏風 堀川文麟筆 京都国立博物館

## 【新春特集展示】 亥づくし

### 「干支を愛でる」

平成30年12月18日(火)～平成31年1月27日(日)  
平成知新館(1F・5)

平成二十八年(二〇一六)の申年より続く新春特集展示「干支を愛でる」。平成三十一年は亥年ということで「亥づくし」、猪にまつわる名品を展示いたします。

当館では明治三十四年(一九〇一)より同四十三年(一九一〇)まで、干支にちなんだ展示が行われていました。明治三十四年は丑年、同四十三年は戌年。丑↓寅↓卯↓辰↓巳↓午↓未↓申↓酉↓戌。そうです。実は亥(猪)をテーマとする展示は、この度が初めてとなります。

京博初の亥づくし、是非、お越しいただき、お気に入りの猪を見つけていただければ幸いです。



白猪猪 京都国立博物館

## 【特集展示】 京の冬景色

平成30年12月18日(火)～平成31年1月27日(日)  
平成知新館(2F・5)

四季に恵まれた日本の自然は、その季節ごとにさまざまな表情を見せてくれます。桜、新緑、紅葉など、季節を彩る豊かな色彩が見慣れたはずの景色に新鮮な趣を添えるさまはまことに目に楽しいものです。

一般的には観光のオフシーズンとされ、底冷えのする冬の京都には、しかしこの季節ならではの景色があります。特に、市内でも北部や山沿いでは雪が積もりやすく、雪化粧という言葉そのままに、真白な雪は美しい景色をさらにも美しく磨き上げてくれるのです。そんな魅力的な京都の冬景色が描かれた作品をご覧ください。だこうという特集展示です。

### 今後の展覧会予定

特別企画 日中平和友好条約締結40周年記念「中国近代絵画の巨匠 齊白石」  
平成31年1月30日(水)～3月17日(日)  
会場＝京都国立博物館 平成知新館(2F・1～4)

特集展示「雛まつりと人形」  
平成31年2月13日(水)～3月17日(日)  
会場＝京都国立博物館 平成知新館(1F・2)